

第5学年 外国語科学習指導案

日 時 令和7年11月21日（金）2校時
指導者 HRT 井口 あみ
ALT Chris Riedl
場 所 5年教室

1 単元名

Welcome to Japan! ～Du Preez先生に、日本各地のよさを伝えよう～
（参照：『NEW HORIZON Elementary 5』Unit7 「Welcome to Japan!」）

2 児童について

本学級の児童は、外国語の授業において、やり取りの場面では積極的に友達に話しかけ、会話を楽しもうとする姿が見られる。また、授業中だけでなく、休み時間にもALTと英語での会話を楽しんだり、授業後に既習表現を確認するために友達に英語で話しかけたりする姿も見られる。

しかし、「正しい英語を使わなければならない」という意識や、「伝えたいことはあるけれど、どのように伝えればよいか分からない」という思いから、英語を用いて自分の考えや思いを伝え合うことに、苦手意識をもつ児童も見受けられる。また、自分の考えや思いを一方的に伝えようとする事が多く、他者に配慮したコミュニケーションが十分にできていない児童もいる。結果として、コミュニケーションが一方通行になりがちで、より深い対話へと発展しないことがある。これは、相互に理解を深めるコミュニケーションの楽しさを十分に味わった経験が少ないことに起因すると考えられる。

そこで、本単元では、相手意識をもって自分の考えや思いを伝え合う力を育むことを目指す。英語を用いたコミュニケーションに苦手意識をもつ児童も、相手のことを意識し、試行錯誤しながら一つずつ成功体験を積み重ねることで、自分の考えや思いが伝わる喜びや、相手の思いがしっかり理解できる達成感を味わい、コミュニケーションの楽しさに気付くことができると考える。この単元の学習後も、相手への思いを大切にしながら、自信をもって英語でコミュニケーションをすることができる児童へと成長してくれることを期待している。

3 単元について

○教材観

本単元では、活動目標を「Du Preez先生に日本各地のよさを知ってもらうために、自分の行きたい場所やおすすめの場所を伝えよう」と設定する。伝える相手であるDu Preez先生は、昨年度4月に来日し、近隣の小学校で勤務するALTである。7月に行ったオンライン交流を通して、児童の「もっとDu Preez先生と話したい」「もっとDu Preez先生のことを知りたい」という気持ちは高まっている。そこで、児童にとって「自分の英語が相手に伝わることの喜び」を実感しやすく、主体的に関わることができる相手であると考えた。

また、本教材は、総合的な学習の時間の単元「日本のよさ発見！都道府県のよさをPRしよう」と関連している。児童は自分が体験したことだけでなく、総合的な学習の時間に自分や友達が調べた情報も活用できるため、Du Preez先生に日本各地のよさを紹介する際、思いをより強くもって発表することができる。以上のことから、本教材は、学習指導要領の「話すこと（発表）ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」を体现していると言える。

○指導観

第1時では、教師とDu Preez先生とのやり取り（Small Talk）を聞き、日本各地のよさを伝えるために必要な情報を得る。Du Preez先生の好きなことやできることなどを質問し、発表に必要な情報を得ることで、目的意識・相手意識をもつことができるようにする。また、教師が行う最終ゴールのモデルとなるスピーチを聞くことで、児童が具体的なゴールのイメージをもって学習に取り組むことができるようにする。第2・3時では、相手がDu Preez先生であることを想定して、児童自身の行きたい日本の場所とそこに行きたい理由、そこでしたいことなどについて友達と伝え合う。児童が自分の考えや気持ちについて伝え合う際には、ICT端末等を活用し、写真（イラスト）や音声を手がかりに、自分が伝えたいことに合った単語や表現を選択できるようにする。そして、伝えたいことが相手にうまく伝わった成功体験を積み重ねることで、自信をもって発表できるようにする。第4時では、第1時の教師とDu Preez先生とのやり取り（Small Talk）を想起させ、相手意識・目的意識を再度確認する。そして、前時までに考えた自分の行きたい場所と、第1時の教師とDu Preez先生のやり取りの内容を関連付けながら、おすすめしたい場所についての発表内容を再構成し、友達と伝え合う。本時（第5時）では、Du Preez先生に日本各地のよさがより伝わるように、自分の発表内容を再構成し、友達と伝え合う。その際には、児童が自分に合った学び方（例：ALTや友達と伝え合う、児童用デジタル教科書で発音や表現を確認する等）を選択できるようにする。第6時では、友達や教師を相手に、Du Preez先生からの質問を想定した伝え合い（やり取り）を行う。そして、友達や教師からのフィードバックや自分自身の振り返り等をもとに、発表内容や表現方法を工夫・改善する。第7時では、Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるとともに、Du Preez先生からの質問にも答える。第8時では、映像や音声を手がかりにして、日本文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。日本に住む外国人の一例としてDu Preez先生を想起させることで、本単元の学びを、より広い視野での異文化理解へと繋げる。

本単元を通して、自分の考えや思いが伝わるという成功体験を積み重ね、コミュニケーションの楽しさを味わわせたい。そして、本校の研究主題である「児童自らが目的意識・相手意識を持ち、主体的に関わり合う言語活動」の実現へと繋げたい。

4 単元の目標

Du Preez先生に、日本各地のよさを知ってもらうため、自分の行きたい場所やおすすめの場所、そこで体験できることなどについて、伝えることができる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	〈知識〉【日本各地のよさを紹介する語句や表現】 Where do you want to go? I want to go to ~. Why/What do you want to ~? It's very ~. Let's go to ~. 及びその関連語句について理解している。 〈技能〉【日本各地のよさを紹介する語句や表現】及びその関連語句などを用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

6 単元の指導と評価の計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価		
		知 技	思 判 表	態 度
				◎評価規準（評価方法） ※指導・学習改善のための評価（方法）
1	◆教師とDu Preez先生とのやり取りを通して、単元の見通しをもつことができる。			
	○Du Preez先生に実際に来てもらい、「日本各地のよさを知りたい」という思いを知る。 ・ Du Preez先生と教師のやり取りを聞く。 ・ Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、児童が必要な情報を得ることができるように質問をすることで、相手意識・目的意識をもつ。 ・ 教師のスピーチを聞き、行きたい場所やそこでしたいことなどについて伝える際の大まかなイメージをつかむ。 ○振り返り			本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導をし、必要に応じてメモを残す。（教師とDu Preez先生とのやり取りについて、理解できているかを見取る。）
2	◆自分の行きたい日本の場所について友達と伝え合うことができる。			
	○Let's Chant ○Listen and Think ・ 映像を見たり教師のスピーチを聞いたりして、行きたい場所やそこでしたいことに関する語彙や表現を知る。 ○Let's Try 1 ・ 自分の行きたい日本の場所について、友達と伝え合う。 ○振り返り			本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導をし、必要に応じてメモを残す。
3	◆自分が行きたい日本の場所とそこに行きたい理由、そこでしたいことなどについて友達と伝え合うことができる。			
	○Small Talk ○Let's Listen 1・2 ○Let's Try 2 ・ 行きたい日本の場所とその理由について、友達と伝え合う。 ○振り返り			本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導をし、必要に応じてメモを残す。
4	◆前時までに考えた自分の行きたい場所と、Du Preez先生に紹介したい場所とを関連付けながら、おすすめしたい場所についての紹介文を考え、友達と伝え合うことができる。			
	○Let's Chant ○Small Talk ○Activity ・ Let's Try 1・2で伝えた内容に、Du Preez先生に合った情報を付け加えて、友達と伝え合う。 ○振り返り	発		◎日本各地のよさを紹介する語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。（行動観察、ワークシート、動画）

5 (本時)	◆Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、友達やALTに紹介することで、自分の発表内容を再構成し、児童同士で話すことができる。 ○Small Talk ○Activity 1 ・おすすめしたい日本の場所について、Du Preez先生に紹介するために、ペアで発表内容を伝え合う。 ○Activity 2 ・Activity 1と同じペアで発表内容を聞き合い、良くなったところや改善点を伝え合う。 ○振り返り				◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。 (行動観察、ワークシート) ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。 (行動観察、動画)
6	◆Du Preez先生からの質問を想定した伝え合いを行うことができる。 ○Let's Chant ○Small Talk ○Activity ・発表内容に、第1時で行ったDu Preez先生と教師のやり取りの内容が正しく反映されているか、わかりやすく伝わる文章になっているかを再確認し、友達と発表し合う。 ○振り返り			発 発	◎日本各地のよさを紹介する語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。 (行動観察、ワークシート、動画) ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。 (行動観察、ワークシート)

7	◆Du Preez先生に日本各地のよさを伝えることができる。			
	○Let's Chant ○Activity ・ Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、自分が行きたい場所やおすすめの場所、そこで体験できることなどを発表する。 ・ Du Preez先生からの、発表に対する質問に答えたり、フィードバックを聞いたりする。 ○振り返り	発	発	◎日本各地のよさを紹介する語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。 （行動観察、動画） ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。 （行動観察、ワークシート） ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。 （行動観察、動画）
8	◆映像や音声を手がかりにして、日本文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深めることができる。			
	○Let's Sing ○Small Talk ○Over the Horizon ・ 映像を見て、日本に住む外国人について知ったり、日本文化について考えたりする。 ○本単元を通じた振り返り			本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けた指導をし、必要に応じてメモを残す。

7 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第5学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ ゆっくり（または繰り返し）はっきりと話されれば、自分のことや学校生活など日常生活に関する身近で簡単な事柄について、それらを表すイラストや写真などと結びつけて基本的な表現を聞き取ることができる。	・ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現が書かれた掲示や資料などを見て、その意味を推測することができる。	・ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の気持ちや考えなどを、慣れ親しんだ語句や表現を用いて伝え合うことができる。	・ 自分が暮らす地域のよさや、日本のよさに関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の伝えたいことや考えを話すことができる。	・ アルファベットの太文字と小文字を4線の正しい位置に活字体で書き写すことができる。また、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の太文字を書くことができる。

8 本時の活動（第5時）

（1）目標

Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、友達やALTに紹介することで、自分の発表内容を再構成し、児童同士で話すことができる。

（2）展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法） ▽準備物
		HRT	ALT	
2分	挨拶をする。	・既習表現（月日、曜日、天気など）のカードを黒板に掲示したり板書したりする。	・既習表現（挨拶、月日、曜日、天気など）の確認をする。	・視覚と音声の両方で既習表現を確認できるようにする。
13分	Small Talkをする。 "What do you want to do in Osaka? "	・対話のモデルを示す。 H: (写真を見せて)Do you know this? A: Sorry. I don't know. H: This is battera. Battera is sushi. It's a famous traditional food of Osaka. It's delicious. I want to eat battera in Osaka. Do you like sushi? A: Yes, I do. H: That's great! What do you want to do in Osaka? ・ ・ ・		・Activity 1以降の活動につながる表現（形や味などの詳しい情報、自分の考えや思いなど）を用いる。 ・会話に関係のある写真等を見せたり、ジェスチャーしたりしながら対話する。 ・Small Talkを聞いて、自分の発表に取り入れたいと思ったことを確認し、児童が自分の表現に生かせるようにする。
		・ALTと児童の対話に対して、フィードバックをする。 ・児童同士の対話へ導く。		
		Du Preez先生に日本各地のよさがより伝わるように工夫して話そう。		

25分	Activity 1 ・ Du Preez先生からのビデオメッセージを視聴する。 ・ Du Preez先生におすすめしたい日本の場所について紹介するために、ペアで発表内容を伝え合う。 レベルアップタイム ・ 自分に適した学び方を選び、より詳しく伝わるように内容を再構成し、話す。 Activity 2 ・ Activity 1と同じペアで発表内容を聞き合い、良くなったところを伝え合う。	・ 内容面について、児童に応じた助言や支援をする。 ・ 適宜質問を投げかけたり、フィードバックを行ったりする。 ・ 中間指導を行う。 ・ より良くなったところについて称賛する。	・ 児童が伝えたいことを英語で伝えることができるよう、語句や表現について助言する。	・ ビデオメッセージを確認し、目的意識や相手意識を再確認することができるようにする。 ・ 個人で内容を見直す（ICT活用）、ALTに質問をする、発表内容を友達と確かめ合う等、児童が自分に合った学びを選択できるようにする。 ・ 児童同士のやり取りの中で、思考が深まるような支援をする。 ・ 中間指導では、自分の発表に取り入れたいことについて、全体で共有できるようにする。 ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。 （行動観察、動画） ◎Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、行きたい場所やそこで体験できることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。 （行動観察、ワークシート） ▽タブレットPC
-----	---	--	---	---

5分	本時の学習を振り返る。 ・自分の発表を動画に残し、次時への活動課題をもつ。 挨拶をする。	・振り返りの視点を示す。 ・次時への意欲が高められるような話をする。	・児童のよかった点を伝える。	・指導内容に即した振り返りになるようにする。
----	--	---	--	--

(3) 評価及び指導の例

「話すこと〔発表〕」の「思考・判断・表現」

「十分満足できる」と判断される状況(a)	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、おすすめの場所やそこで体験できることなどについて、よりよく伝わるよう工夫しながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、おすすめの場所やそこで体験できることなどについて、音声や映像を参考にしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができるよう支援する。また、Du Preez先生がその場所でどのような体験をし、どのような気持ちになるかを想像することで、相手の立場を理解できるように支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導	「Du Preez先生は、どんなことをしたいと言っていたか」「どうしたらより伝わるか」「どんな表現例があるか」等について具体例を示しながら一緒に考えたり、話したりすることで「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。

「話すこと〔発表〕」の「主体的に学習に取り組む態度」

「十分満足できる」と判断される状況(a)	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、おすすめの場所やそこで体験できることなどについて、よりよく伝わるよう工夫しながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	Du Preez先生に日本各地のよさを伝えるために、「Du Preez先生は、どんなことがしたいと言っていたかな?」「Du Preez先生が教室へ来てくれて、話していたことを思い出してみよう。」などと言葉掛けをし、話の内容やニーズに応える情報を確認することで、自分の考えや気持ちを伝えようとするができるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導	Du Preez先生の好きなことやしたいことはどんなことだったかを具体的に振り返り、一緒に確認することで「おおむね満足できる」(b)を達成できるようにする。